

自衛消防訓練審査会に参加しました！

2025年6月20日（金）に富士森公園陸上競技場にて自衛消防訓練審査会が開催され、当院では、看護部、リハビリ科、薬剤科、事務部から選り抜きの4名（2チーム）が参加しました。

今回3年連続の参加となり、当院の安全を守る自衛消防隊の果たすべき役割と任務の重要性を改めて認識しました。

万が一の火災の際、「初期消火」「通報」「院内放送」等の一連の動作を早期に確実に実践することでこれからも患者様・ご利用者様の安全・安心の確保に努めてまいります。



みなみ野病院フェスティバルを開催します！

この度季節のイベントとしまして、「みなみ野病院フェスティバル」を下記の通り開催いたします。患者さん・ご家族、また地域の皆さんにもお楽しみいただけるような催しを計画しておりますので、ぜひお越しください。

日 時： 令和7年9月20日（土） 11:00～15:30
場 所： みなみ野病院1階リハビリテーション室・エントランス



- 天候・感染拡大・行政指導等により、イベントを中止または縮小する場合もございます。
- 駐車場については台数に限りがありますので、シャトルバスまたは公共交通機関をご利用いただけると幸いです。
- ご面会の時間は、通常通りとなっております。
- 詳細は、ホームページ「お知らせ」をご覧ください。



医療法人社団永生会
みなみ野病院

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野5-30-3
TEL 042-632-8118（代）

TEL 042-632-8154（入院相談）

<https://www.eisei.or.jp/minamino/>



●みなみ野病院は、4つの機能で地域の皆さんに信頼していただける病院づくりを目指しています。今後ともよろしくお願ひいたします。

- 緩和ケア病棟
- 医療療養病棟
- 回復期リハ病棟
- 通所リハビリテーション



～「医療・介護を通じた 街づくり・人づくり・想い出づくり」を理念とし、地域の方々を支えていく～ それが私たちの願いです

はーとふる みなみ野



医療法人社団永生会
みなみ野病院広報誌
2025年9月発行
Vol 27
Take Free

〈表紙について〉

この作品は、医療療養病棟においてリハビリの一環として患者さんとスタッフで作成したものです。20cmほどのやぐらと盆踊りの様子が再現されています。やぐらの他に屋台も作成しました。

院内ギャラリー

6月から8月のイベントと季節のディスプレイです。

医療療養病棟



医療療養病棟



緩和ケア病棟



緩和ケア病棟



医療療養病棟



医療療養病棟



回復期リハ病棟



通所リハビリ



1階中庭



医療療養病棟



回復期リハ病棟



通所リハビリ



コンテンツ

- 院内ギャラリー（6月から8月の季節のイベントとディスプレイ）
- みなみ野病院を知っていただくための特別企画「みなみ野病院のリハ科」
- 自衛消防審査会に参加しました ■みなみ野病院フェスティバルを開催します



みなみ野病院を知っていただくための特別企画

みなみ野病院は、回復期リハビリテーション、慢性期医療、緩和医療、通所リハビリテーションの「4つの機能」で地域の皆さんに信頼していただける病院づくりを目指しています。この紙面では、さらにみなみ野病院を詳しく知っていただくために、病院組織や各部門の特徴をご紹介していきます。今回は患者さんの自立を支援する「リハビリテーション科」です。

みなみ野病院「リハビリテーション科」の挑戦

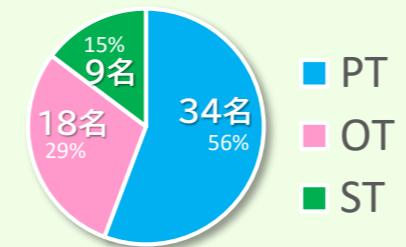
みなみ野病院リハビリテーション科（以下リハ科）は、患者さんの自立支援と早期回復を目指し、日々質の高いリハビリテーションを提供できるよう自己研鑽に努めています。今回は、リハ科の取組みをご紹介いたします。

1. 専門性とチーム力で患者さんを支える61名のスタッフ

2025年4月時点で、リハ科には61名の専門職スタッフが所属しています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種が、それぞれの専門性を活かしながら一丸となって患者さんに寄り添っています。



職種	役割	支援内容の例
PT	理学療法士	身体機能の回復を支援
OT	作業療法士	日常生活動作の再獲得を支援
ST	言語聴覚士	言語・演技・認知機能の改善を支援



2. リハ科の「10の取組み」と「見える化」

リハ科では、下記の「10の取組み」を目標に掲げ、それぞれ成果指標を設定しています。そして年1回その効果をデータに基づいて「見える化」し、公表しています。

私たちのリハビリの目標と方針



- 短い入院期間でできる限り機能改善し家に帰っていただく（回復期病棟）
- 病気の状態にあわせた療養環境でリハビリを行う（療養病棟）
- 穏やかに最後まで自分らしく過ごしていただく（緩和ケア病棟）
- 障害がありながらも好きなことをしながら家で過ごす（通所リハビリ）
- 臨床能力を高め、臨床研究を行う（キャリア形成）
- 専門性を向上するために認定資格等の取得に挑戦する（認定専門資格習得）
- 安心で安全なリハビリを提供する（医療安全・感染対策・接遇）
- 医療と介護の連携を強化する（医療介護連携）
- リハビリを通して地域とつながる（地域支援事業）
- 排泄を一人で出来るように支援する（排泄自立ケア）

3. さらなる専門性の向上のため認定資格取得に挑戦！

スタッフ一人ひとりが自己研鑽に励み、専門資格の取得、学会発表への参加などを積極的に行っています。専門職としての知識・技術のさらなる向上が、患者さんへの質の高い支援につながっていると考えています。リハ科の専門資格の取得状況は以下の通りです。

- 認定・専門理学療法士 …理学療法の特定分野において高度な知識と技術を持ち、臨床・教育・研究で専門的な役割を果たす理学療法士（6名）
- 認定呼吸療法士 …呼吸に関する専門知識を活かして患者の呼吸管理やリハビリを安全かつ効果的に支援する医療のスペシャリスト（5名）
- 心臓リハビリ指導士 …心疾患者に運動療法や生活指導を行い、再発予防と健康回復を支援する専門職（1名）
- LSVT@BIG認定資格 …パーキンソン病患者の発声や運動機能を改善するための専門的なリハビリ技術を習得した療法士に与えられる国際認定資格（2名）
- 福祉住環境コーディネーター …高齢者や障がい者のために安全で快適な住まいづくりを提案する専門家（4名）
- 東京糖尿病療養指導士（2名）
- 福祉用具プランナー / 認知症ケア専門士 / 認知症ライフパートナー（各1名）
- 理学療法士協会 指定管理者 / 地域包括ケア推進リーダー（各2名）
- 医療安全管理者（1名） ●介護支援専門員（1名）
- 学位/修士 3名



【2025年8月現在】

4. 認定理学療法士、認定呼吸療法士の活躍

■認定理学療法士

この資格は、理学療法士の専門性をさらに深めた資格です。より質の高いリハビリを患者さんに提供するため、自己研鑽の一環として取得しました。現在はこの資格を活かし、臨床の質向上やスタッフの研究活動サポートなどに取り組んでいます。また、講座を開催して地域の皆さんにご参加いただいています。リハ科のレベルを上げることが自分の使命だと思っています。

専門知識を活かし、地域の方への介護予防講座の講師などもしています



人工呼吸器のモニターを確認しながら呼吸リハを実施しています

■認定呼吸療法士

リハビリ対象の方には、呼吸器に問題を抱えている患者さんが多くいます。その方により質の高いリハビリを実施するためにこの資格を取得しました。今はこの資格の知識を活かし、専門的なリハビリを実施することや、後輩指導などを行っています。

5. 街づくり、人づくり、想い出づくり

私たちは、リハビリテーション科全体の取組み強化と専門性の向上によって、みなみ野病院リハビリテーション科を「質と量」両面で全国に誇れるモデルへと発展させていきます。そして、永生会の理念である「医療・介護を通じた街づくり、人づくり、想い出づくり」をこれからも力強く実践してまいります。